

1. 4年 国語 新聞を作ろう

3分野	新聞活用学習	新聞機能学習	新聞製作学習
-----	--------	--------	--------

身に付く資質・能力

◎情報整理・分析力

○新聞風の記事を作成する活動を通して、取材、構成、執筆といったプロセスから、自分の考えを分かりやすく発信する力を育てる。

概要:4年生、光村図書の教材。

2. 4年生 道徳 「フェイクニュースをみやぶろう」

3分野	新聞活用学習	新聞機能学習	新聞製作学習
-----	--------	--------	--------

身に付く資質・能力 ◎情報モラル

○ネットのフェイクニュースと新聞記事を比較することで、情報の真偽を見抜く力を養い、安易な情報を鵜呑みにしない態度を育てる。

ねらい

- 「フェイクニュース」とは何かを具体的な活動を通して理解する。
- フェイクニュースがどのように作られるのかを知り、安易に情報を信じない態度を養う。
- テレビや新聞記事など、信頼できる情報源の特性を理解する。

活動内容	指導内容のポイント	備考
導入:ニュースってなんだろう? ・「ニュース」という言葉を知っているか問いかける。 ・普段どんなニュースを見たり聞いたりしているか尋ねる。(テレビ、新聞、インターネットなど) ・ニュースは「みんなに大切な情報を伝えるもの」であることを確認する。	・子どもたちが身近に感じるニュースの例を挙げる。 ・ニュースの役割(情報伝達)をシンプルに説明する。	発言を促し、子どもたちの意見を引き出す。
活動1:「フェイクニュース」を作ってみよう! ・先生が用意した「本物の新聞記事」を提示し、読み聞かせる。 ・「このニュースを、ちょっとだけ『うそ』のニュースにしてみよう!」と提案。 ・個人で、新聞記事の一部を変えて、面白いフェイクニュースを作るワークシートに取り組む。	・「フェイクニュース」が「うそ」の情報であること、でも「本当のこと」と混ぜて作られることがあることを体感させる。 ・事実を少し変えるだけで、いかに情報が大きく変わるかを気づかせる。 ・「誰かを傷つけるようなフェイクニュースは作らない」ことを事前に	新聞記事はコピーして、1人1部用意する。 ワークシートは、元の記事を貼るスペースと、変更点を書き込むスペース、新しい見出しを書くスペースなどを用意す

例： 米の価格の地域差 夏のイベント サッカーのルール改定 ・個人で、発表させる。	注意喚起する。あくまで「おもしろいウソ」を作る練習であることを強調する。	る。
活動2:「ほんと」のニュースはどこが違う？ ・子どもたちが作ったフェイクニュースと、元の本物の新聞記事を見比べる。 ・「フェイクニュース」と「本物のニュース」のどこが違うか、みんなで話し合う。 - 本物のニュース：事実に基づいているか、誰が言ったか（情報源）、いつのことか、どこで起こったか、写真やデータがあるか、など。 - フェイクニュース：信じられないような内容、情報源が書いてない、感情に訴えるだけ、など。 ・特に「誰が伝えているか（新聞社やテレビ局の名前）」、「取材しているか」といった点に注目させる。	・本物のニュースが「事実」や「証拠」に基づいて作られていることを明確にする。 ・新聞やテレビ局が、ニュースを伝えるために多くの手間をかけている（取材、確認、編集など）ことを説明し、その信頼性の理由を理解させる。 ・「フェイクニュース」がどのような意図で作られることがあるか（誰かをだます、注目を集めるなど）についても簡単に触れる。	比較しやすいように、「本物のニュース」と「フェイクニュース」の特徴を書き出してまとめる。
活動3:ニュースを見るときに気を付けること ・「ニュースを見たり聞いたりするとき、何に気を付けたらいいかな？」と問いかける。 ・「すぐに信じない」「『ほんとかな？』と考えてみる」「大人に聞いてみる」「他のニュースと比べてみる」などの意見を促す。	・批判的思考の芽を育む。 ・情報の真偽を自分で判断しようとすることの重要性を伝える。	具体的なチェックポイントを提示する。 （例：誰が言っている？、いつのこと？、証拠はある？など）
まとめ:ニュースとじょうずに付き合おう！ ・今日の授業で学んだことを振り返る。 ・「ニュースには『ほんと』と『うそ』があること」 ・「テレビや新聞は、たくさんの人が調べて作った信頼できる情報が多いこと」 ・「でも、何でもかんでも信じるのではなく、自分で考えることの大切さ」を再確認し、授業を終える。	・今日学んだキーワードを繰り返して提示し、定着を図る。 ・メディアとの付き合い方について、前向きなメッセージで締めくくる。	「情報の探偵になろう！」など、子どもたちが主体的に情報に関わるイメージを持たせる言葉で締めくくるのも効果的。

学習を終えて

:時間の関係で、活動2を大幅に省略することになった。今回は、フェイクニュースを作るという活動を中心に行ったが、あまり効果的ではないと感じた。教員が作ったフェイク

クニニュースを提示し、違和感(情報源が書かれていない、数字が過大など)を話し合う活動の方が、効果が高いと思う。

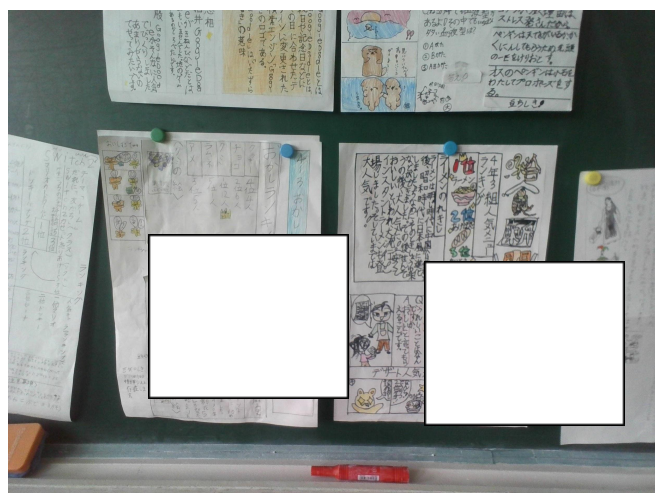
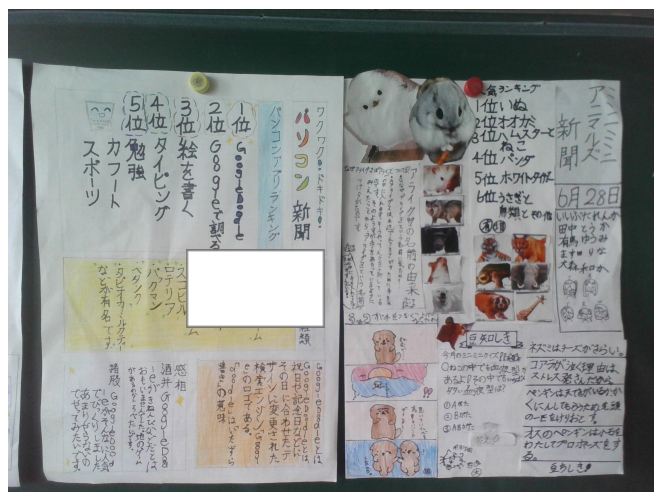
活動の様子



夏休み前に提供してもらった小学生新聞を読んでいる様子



4年国語「新聞を作ろう」板書



4年国語「新聞を作ろう」児童作品